

総合計画における市民参加を促すツールのプロトタイプづくり

令和3年度の共創プロセスにおけるひとつのアクションとして「幸福度調査」を実施した。北海道総合研究所と富良野市、民間企業で富良野独自の方法で「一人ひとりにとって、“幸せを感じる瞬間”を再確認し、“幸せ感度”を守ることにつながる時間であること」というテーマに調査を行った結果、市民の多様な「幸せのタネ」を知ることとなった。この「幸せのタネ」を丁寧に扱い、活用し、育てていくことが“美しい”のその先へ。WA! がまちふらの”という旗印の追い風となる。持続的、自発的に「共創」の動きが生まれる対話ツールとして、「しあ WA! セカード(仮)」を制作。イメージは以下の通り。

イメージ図

対話ツール

幸福度調査から浮かび上がってきた文言をカード化
※ カードはアップデート(増やす)前提



このカードを
対話の場に出して...
一人ひとり選んでもらい

問いのリストを元に
対話のきっかけやテーマへ



問いのリスト (例)

まちづくり編

Q. そのカードはまちの
どういうところに
現れていると良いで
しょうか?

Q. ∴

Q. 空白も作成

ビジネス編

Q. しあ WA! セカードを
3枚組み合わせた
ビジネスを考えて
ください。

Q. ∴

Q. 空白も作成

ファミリー編

Q. 家族全員のカードの
実現ができる家族
イベントってなんだ
ろう?

Q. ∴

Q. 空白も作成

学校編

Q. なぜ、そのカードが
大切であると感じ
ましたか?

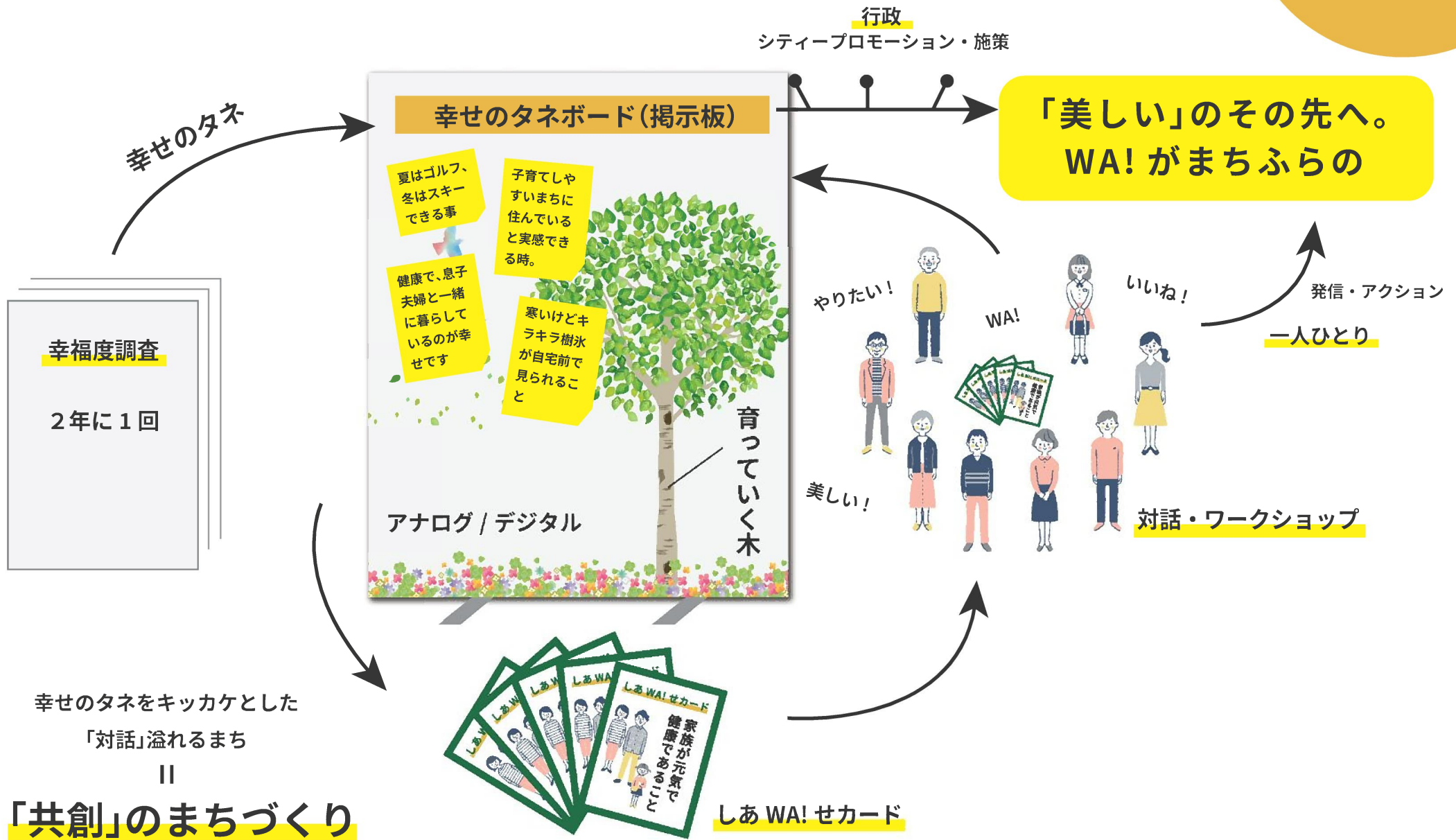
Q. ∴

Q. 空白も作成

「美しい」のその先へ。
WA! がまちふらの

幸せのタネの見える化と育てていく仕組み作り (アナログ・デジタル)

提案版



幸せのタネ

幸福度調査
2年に1回

幸せのタネボード (掲示板)

夏はゴルフ、冬はスキーできる事

子育てしやすいまちに住んでいると実感できる時。

健康で、息子夫婦と一緒に暮らしているのが幸せです

寒いけどキラキラ樹氷が自宅前で見られること

アナログ / デジタル

育つていく木

行政
シティープロモーション・施策

「美しい」のその先へ。
WA! がまちふらの

やりたい!

WA!

いいね!

美しい!

対話・ワークショップ

発信・アクション 一人ひとり

幸せのタネをキッカケとした
「対話」溢れるまち

||

「共創」のまちづくり



しあ WA! セカード